

○ **提案募集に当たっての提案内容**

※平成30年12月12日付け諮問第2043号

- 空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの各種用途につき、想定される運用形態と、当該運用を図る上での電波利用の要求条件(送受信距離、伝送される電力量、送電時間等)
- 当該要求条件を達成する上で必要となる技術的条件(周波数、空中線電力、占有周波数帯幅、変調方式、チャンネル数等)

○ **募集期間**

平成31年1月17日(木)から平成31年2月1日(金)

○ **提案提出者一覧(全3者)、実用化時期、ユースケース**

| 提案提出者 | 提案された実用化の時期等 | 提案されたユースケース (出力は空中線電力) |
|---|---|---|
| ブロードバンドワイヤレスフォーラム(BWF) ワイヤレス電力伝送WG(WPT-WG) | 第1ステップ 2020年実用化 | 屋内利用 1W~32W <ul style="list-style-type: none"> • IoTセンサーネットワーク、モバイル機器への給電 |
| | 第2ステップ 2022年頃実用化 | 屋内・屋外利用 5W~32W <ul style="list-style-type: none"> • 屋外を含むIoTセンサーネットワーク、モバイル機器への給電 |
| | 第3ステップ以降 | 屋内・屋外利用・大電力 ~kWクラス <ul style="list-style-type: none"> • スマートモビリティ、ロボット・ドローンへの給電・充電 • 災害時の電力供給等 |
| パナソニック株式会社、オムロン株式会社、株式会社東芝、電気興業株式会社、新潟大学、信州大学、岩手大学、千葉大学 | 事業化時期の目標 2024~2025年 制度化検討 2022~23年 | 広範囲のセンサへの小電力供給 0.25W~5W <ul style="list-style-type: none"> • 工場内の生産及び品質管理 • エイジフリー事業における監視 センサ及びモバイル機器への中電力給電 5W~32W <ul style="list-style-type: none"> • 工場におけるセンサやロボットへの給電 • インフラ点検 • モバイル機器への給電 |
| 東京電力ホールディングス株式会社、三菱電機株式会社、京都大学 | 想定する実用化時期 2030年代 | 屋外でのマイクロ波によるドローン等への給電 1kW <ul style="list-style-type: none"> • インフラ点検、物流、農業や非常災害時対応等への活用 |